

立命館経済學

第二十七卷 第四号

昭和五十三年十月

内 容

論 說

- 労働価値論と需要供給の問題……………小檜山 政 克 1
- アダム・スミスの自然価格論について(中)……………岡 崎 栄 松 19
——生産価格論の学史的考察——
- 国有林における労働組織の形式と展開(目)……………奥 地 正 74
——東北・秋田国有林を中心に——

資 料

- 日本資本主義確立期の資本の存在形態(七)……………後 藤 靖 119
- 共同研究室…………… 176

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十七卷・第二号

論 説

景気循環における新旧技術の

導入と廃棄について……………北野正一

産業資本主義段階における

近代的独占の存在形態(五・完)……………若林洋夫

研 究

訓練付一時帰休の

経済的基盤と諸結果……………三富紀敬

資 料

日本資本主義確立期の

資本の存在形態(六)……………後藤靖

紹 介

スティヴン ルークス『社会科学に

おける KEY CONCEPT として

の個人主義』……………小野進

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十七卷・第三号

論 説

アダム・スミスの

自然価格論について(上)……………岡崎栄松

——生産価格論の学史的考察——

寡占企業の最適広告支出

に関する小論……………松川周二

研 究

農協による経営受託……………木村一夫

——大垣南機械化営農組合および

第一機械化営農組合の場合——

価格決定機構と産業組織……………山本幹夫

——西陣織物工業の事例的研究——

研究ノート

J・Kガルブレイス

『不確実性の時代』考……………浜崎正規

——主要著作との位置づけをめぐって——

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会